

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:核物理研究センター

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p> <p>教育に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、サイクロトロン実験装置のビームタイムを教育用に割り当て、大学院生のみならず学部学生の教育にも貢献し、全国の大学・研究機関が協力して企画する各種スクールに積極的に参画し、貢献するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p> <p>研究に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、不安定原子核ビームの開発、それによる不安定原子核の核構造研究の成果に対してフンボルト賞を受賞したほか、サブアトムック科学推進事業費、サブアトムック科学拠点事業などの大型プロジェクトの継続実施など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~16)</p> <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、「京」を含む「革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ (HPCI)」に計算資源を提供し、戦略分野5の拠点として運営に協力するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)</p> <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、海外4名、国内5名の委員により国際外部評価を実施し、実績と今後の計画について高い評価を得たほか、夏場の電力使用量の多い実験を冬場にシフトし、電力使用量及び夏季ピーク電力の削減を図ることで、大阪府から「おおさかストップ温暖化賞優秀賞」を受賞するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>5. 全体の項目に関する達成状況</p>	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、大型設備活用型および共同研究型の共同利用・共同研究拠点の活動として、共同利用・共同研究課題の採択21件、共同利用・共同研究の受入機関数150件(のべ830人)、研究会・シンポジウム(国内・国外)8件(参加者数713人)を実施し、「京」を含むHPCIに計算資源を提供し、戦略分野5の拠点として運営に協力するなど積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>